

津麦ニュース 平成31年産 第1報

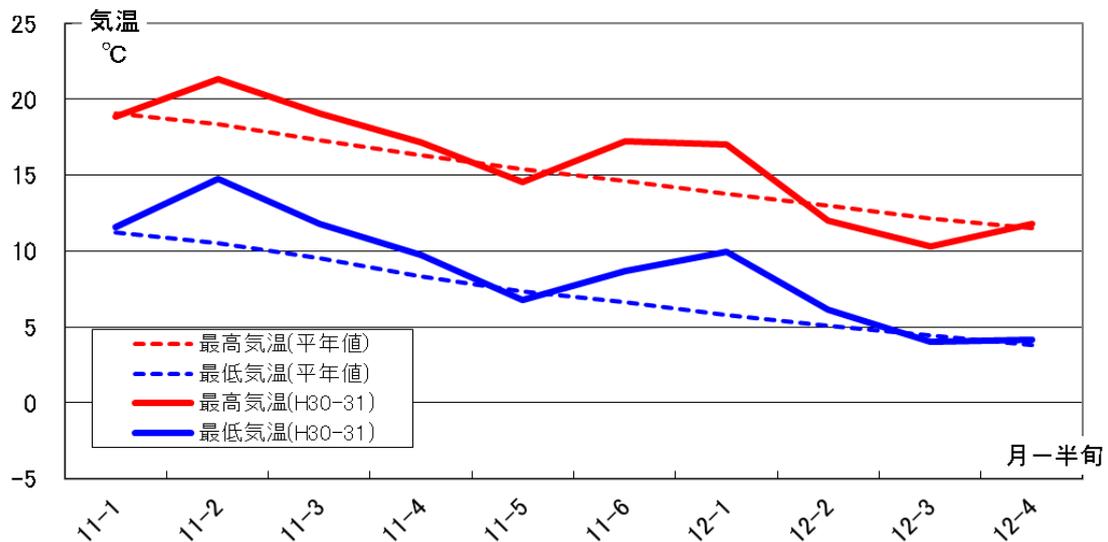
平成30年12月25日発行
津地域農業改良普及センター
電話:059-223-5121

**麦の生育は順調に進んでいます
今後、積極的な追肥を行い、生育量を確保しましょう。**

<気象経過>

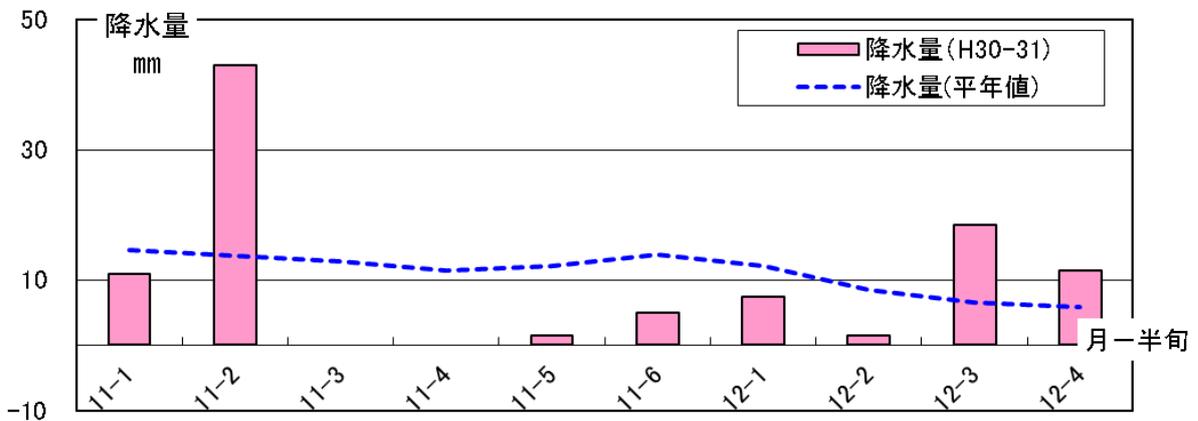
○気温

11月は以降高温傾向が続きました(11月の平年比+1.5℃)。12月に入っても高温傾向は続いています。(12月上中旬の平年比+0.9℃)



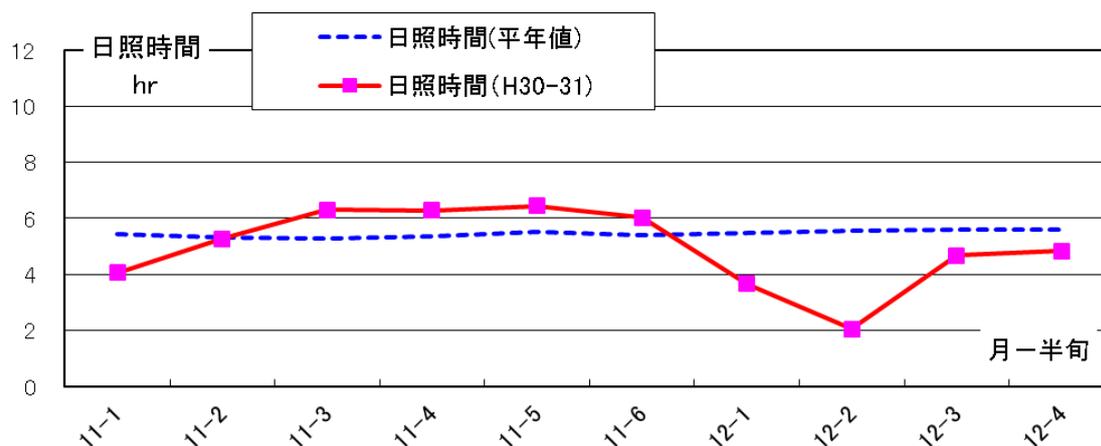
○降水量

11月第2半旬に降水量が多くなりました。特に、11/9の雨では津で28mmの雨が降りました。その後は定期的な降雨はあったものの降雨量は少なく推移していましたが、12月中旬になり雨の日が多くなっています。



○日照時間

日照時間は、11月上旬は降雨もあり平年より少なくなりましたが、11月中旬以降は、ほぼ平年以上の日照時間がありました。12月に入ってぐずついた天気となる日が多く日照時間は平年を下回っています。



<麦の状況>

○ 播種作業

11月上旬に晴天が続いたため、播種作業は順調に進みました。定期的な降雨があったものの、播種作業は順調に進み、11月末には概ね播種作業は終わっているものと思われます。

○ 生育状況

11月、12月と気温が高く推移しており、また定期的な降雨があったことから、出芽は平年より早く、生育も平年よりかなり進んでいます。特に11月第1半旬に播種されたほ場は生育が旺盛で6葉期となっています。11月中旬に播種されたほ場は、2～3葉期となっています。

○平成31年産(平成30年播)小麦生育基準ほの状況【平成30年12月20日現在】

調査場所	播種月日	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色SPAD	葉齢 L
芸濃	11月18日	12.4	210	35.2	2.7
安濃	11月12日	14.9	138	45.8	3.2
白山	11月2日	18.7	544	34.1	6.1

○ 病虫害発生状況

現在のところ、コムギ縞萎縮病等の病害や、虫害は観察されていません。

<今後の対策>

○ 追肥、つなぎ肥

(追肥)

11月第1半旬の播種のものは生育がかなり進んでおり6葉期となっています。この時期は穂数の確保に重要な時期で、「肥切れ」させないことが重要です。6葉期を迎えたら穂数確保のため、追肥(窒素2～3kg/10a)を行ってください。

6葉期を迎える時期は、

11月上旬の播種では12月下旬～1月上旬頃

11月下旬以降の播種では2月上旬以降と予想されます。

(つなぎ肥)

11月中旬以降に播種したほ場では、今年のような雨が多く暖冬の年は、肥切れを起こす可能性があります。葉色が薄くなってきたほ場では、積極的につなぎ肥(窒素1～2kg/10a程度)を施用してください。

○ 麦踏み

葉が4枚出たら麦踏み開始の時期です。本年のように暖冬で生育が旺盛な場合は早期に幼穂形成が進み、その後低温に遭うと凍霜害を受ける恐れがあります。進みすぎた生育を抑えるために麦踏みは特に有効であるため、ほ場がよく乾いているときに行うようにしましょう。

茎立ち期(2月中旬頃)までに実施してください。